

2014年度第1回(通算第10回)理事会(通常)

1. 日時：2014年5月16日(金)13時～17時15分

2. 場所：仙台ガーデンパレス亀甲

3. 出席者：(出席理事)浅田正彦、岩澤雄司、兼原敦子、坂元茂樹、佐野寛、道垣内正人、森川幸一、(代表理事)薬師寺公夫、(出席監事)吾郷眞一、(オブザーバー)植木俊哉(若手研究者育成委員長)

4. 議事の内容

1) 報告事項

1 2014年第1回(通算第5回)評議員会(臨時)に関する件

薬師寺代表理事より、理事改選に伴う評議員会が開催され、一般財団法人国際法学会第2期理事を選出した旨の報告がなされた。

2 日本弁護士連合会との協力事業に関する件

薬師寺代表理事より、毎年開催「国際分野で活躍する法律家を目指すためのキャリアセミナー」につき、日本弁護士連合会からの後援の依頼を受諾した旨の報告がなされた。

3 富山房インターナショナルとの契約に関する件

薬師寺代表理事より、浅田雑誌編集委員長同席の下、富山房インターナショナルと国際法外交雑誌の組み版および印刷に関する契約を締結した旨の報告がなされた。

2) 審議事項

第1号議案 2014年度第2回(通算第6回)評議員会(定時)招集に関する件

薬師寺代表理事より、標記に関する提案が行われ、以下の通り議決された。

[議決事項]

・2014年度第2回(通算第6回)評議員会(定時)を以下の要領で招集する。

開催日時：2014年6月29日(日)13時より

場 所：アルカディア市ヶ谷

議 案：1 2013年度事業報告書および決算報告書の承認

2 内閣府に提出する公益目的支出計画書の承認

第2号議案 学協会サポートセンターとの契約に関する件

坂元事務局長より、薬師寺代表理事と共に学協会サポートセンターの担当者と面談し、一般財団法人に移行した後の業務実態に照らして、新たなる契約書および覚書を作成することについて協議した旨の説明が行われた。審議の結果、①学協会サポートセンターとの契約書および覚書を締結する、②契約および覚書に基づく業務委託期間は2014年4月1日より実施し、2016年3月31日に終了する、ことが議決された。

第3号議案 一般財団法人国際法学会年次研究大会(第117年次)に関する件

森川研究企画委員長より、プログラム案の最新版が配布され、これに基づき、第117年次研究大会のプログラムの変更点について説明がなされた。

第4号議案 一般財団法人国際法学会年次研究大会(第118年次)の会場に関する件

薬師寺代表理事から、審議・議決する案件はないことの説明が行われた。

第5号議案 国際法外交雑誌の編集に関する件

(1) 第113巻の編集状況に関する件

浅田雑誌編集委員長から、資料に基づき、第113巻1号および2号の編集作業は順調に進んでいる旨の報告がなされた。審議の結果、①国際法外交雑誌第113巻の編集計画、②消費税の増額に伴う価格の見直しについて、本体価格を据え置く、ことが議決された。

第6号議案 四学会国際法会議に関する件

岩澤国際交流委員長から、第5回四学会国際法会議について報告された。また国際法学会からの代表者として岩澤委員長を派遣とすることとした。

第7号議案 小田滋賞に関する件

(1) 受賞者の顕彰に関する件

薬師寺代表理事から、資料に基づき、第1回小田滋賞の選考対象論文の選定についての報告が行われた。17編の応募（国際法12編、国際私法1編、国際政治・外交史4編）論文について国際関係法教育委員による予備審査を行い、最終選考対象論文につき選考委員会に最終審査をしてもらった。

審議の結果、選考委員会の報告に基づき、小田滋賞各賞が提案通り議決された。

なお、選考委員会より、学部生と大学院生を同じ基準で選考することの是非について指摘がなされた。この点について、学部生の応募を奨励するという趣旨から、最終選考に残った学部生の応募論文に対して、「特別賞」を出すことが議決された。

(2) 授賞式に関する件

授賞式については、第二期の最初の理事会である6月29日に行うことで合意した。賞状の準備など授賞式の詳細については、国際関係法教育委員会で検討してもらい事務局と協議し進めることで合意した。

(3) 受賞論文の公表に関する件

薬師寺代表理事および佐野国際関係法委員長から、受賞論文については、会報およびHPに掲載する文書を代表理事と委員長で作成し、理事に回覧する旨の説明がなされ、了承された。

(4) 2014年度募集に関する件

佐野国際関係法教育委員長から、第2回（2014年度）について、第1回応募者対象のアンケート結果を参考にしつつ、募集要項を定める旨の報告がなされた。

第8号議案 2014年度アジアカップ模擬裁判に関する件

植木若手研究者育成委員長から、2014年度アジアカップ模擬裁判の開催に関して、外務省との協議の結果として、資料に基づき報告が行われた。議論の上、①外務省国際法局国際法課が主管として開催される2014年度のアジアカップ国際法模擬裁判について、国際法学会として協力する、②主な協力事項は、問題作成と裁判官の派遣とし、詳細は若手研究者育成委員会が外務省と協議して進める、③アジアカップ開催に対する国際法学会の関係

については、外務省の意向を尊重して、後日決定する、以上 3 点が議決された。

第 9 号議案 理事会及び委員会の移行に関する件

薬師寺代表理事から、国際法学会第 1 期理事会から第 2 期理事会への移行に伴う学会業務の引き継ぎについての提案文書について、各理事からの意見を踏まえた文書が示された。審議の結果、継続して検討していくことが了承された。

第 10 号議案 2014 年度事業計画に関する件

代表理事から、2014 年度事業計画について、次回評議員会（定時）で報告する旨の報告がなされた。

第 11 号議案 新入会員の承認に関する件

坂元事務局長より、以下の 5 名（一般会員 2 名、院生会員 3 名）の入会を認めることが提案され、議決された。

石川知子 伊藤遥 浅井悠 金美和 浦口薫

これにより、新入会員入会及び退会者削除後は、938 名（一般会員 806 名、名誉 43 名、院生 83 名、特別 3 名、終身 3 名）となる。